

職業実践専門課程の基本情報について

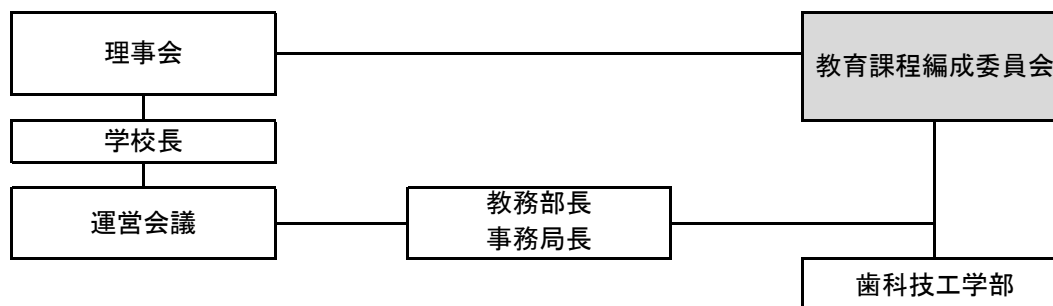
学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
新東京歯科技工士学校	平成22年4月1日	福原 達郎	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 東京滋慶学園	昭和61年2月1日	中村 道雄	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																								
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
医療	歯科技工士 専門課程	歯科技工士科Ⅱ部		平成22年文部科学省 告示第五十三号																							
学科の目的	知識・技術・社会人基礎力を兼ね備え、歯科医療チームの一員として活躍できる歯科技工士となる。																										
認定年月日	平成26年 3月31日																										
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験	実技																				
3年	夜間	95単位	48単位	3単位	44単位	0時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
105人	11人	0人	3人	2人	5人																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。 その評価はA(90～100点)、B(80～89点)、C(70～79点)、D(60～69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。																							
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:8月の3週間 ■冬季:12月下旬～翌年1月の2週間 ■学年末:3月の3週間		卒業・進級条件	■1つの学期ごとに全科目A～Dまでの評価を得た者。 ■卒業時まで全科目を履修し、学年ごとに必修単位数を取得し、学校長が適当と認めた者。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話連絡の他に、必要に応じて、個人面談、三者面談を実施する。		課外活動	■課外活動の種類 ・各種講習会、学会の参加  ■サークル活動: ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 歯科技工所、歯科診療所、歯科機材メーカー  ■就職指導内容 学内合同就職説明会や人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。  ■卒業業者数 : 9 人 ■就職希望者数 : 8 人 ■就職者数 : 8 人 ■就職率 : 88.9 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 88.9 %  ■その他 ・家庭の事情: 1人  (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科技工士免許</td> <td>②</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科技工士免許	②	9人	9人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
歯科技工士免許	②	9人	9人																								
中途退学の現状	■中途退学者 3 名 令和4年4月1日時点において、在学者23名 令和5年3月31日時点において、在学者20名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更  ■中退防止・中退者支援のための取組 学内カウンセリング施設によるサポート、一人暮らしセミナーの実施、学費分納制度、就職希望者の就職サポート、留学生支援センターのサポート等		■中退率 13 %																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象外																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科のホームページURL	URL: <a href="https://www.dt.ntdent.ac.jp/department/dept2/">https://www.dt.ntdent.ac.jp/department/dept2/</a>																										

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
教育課程の編成において、業界が求める人材要件(知識・技術・人間性等)を明確にし、必要となる最新の知識・技術を反映するため、企業・業界団体等の意見を活かし、教育課程の改善及び改訂を定期的実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程を決定する「理事会」の直下に位置付けられ、教育課程編成委員会で出された意見は、運営会議にて改善案を起案し、理事会において審議され教科課程へ反映される。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
山下 茂子	一般社団法人 日本歯科技工学会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
大学 泉介	一般社団法人 千葉県歯科技工士会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
木村 正	株式会社 中央歯科補綴研究所	2022年4月1日～2024年3月31日	③
伊藤 世由	アライン・テクノロジー・ジャパン・トリート合同会社	2022年4月1日～2024年3月31日	③
小川 昭久	学校法人 東京滋慶学園 理事	2022年4月1日～2024年3月31日	
福原 達郎	新東京歯科技工士学校 学校長	2022年4月1日～2024年3月31日	
関口 崇之	学校法人 東京滋慶学園 副運営本部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科技工士学校 事務局長	2022年4月1日～2024年3月31日	
植田 慎司	新東京歯科技工士学校 事務部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
富野 浩子	新東京歯科技工士学校 学科長	2022年4月1日～2024年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月、10月

(開催日時)

2023年度

第1回 2023年5月25日 18:00～20:00

第2回 2023年10月31日 18:00～20:00

2022年度

第1回 2022年6月2日 18:00～20:00

第2回 2022年10月31日 18:00～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①「キャリアデザインⅡ」「臨床歯科技工学」の科目について、業界と連携し歯科医療における歯科技工士の役目やコミュニケーションの

重要性について学ぶ内容に修正した。

②「デジタル歯科技工実習」の科目について、企業と連携し歯科用CAD/CAMについて実践的な学習できる内容に修正した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨床実習や歯科技工士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

キャリアデザイン I では連携している企業の見学をはじめ、歯科技工士、歯科医師に來校していただき、実際にどのような働き方をしているか、歯科治療における歯科医師、歯科技工士の連携について講演していただいている。受講後学生はレポートを提出し、その内容により評価を行っている。

デジタル歯科技工実習では、歯科技工業界におけるのデジタル化の流れや将来展望をレクチャーしていただき、本校のCAD/CAMシステムを用いて、実際に補綴物をデザイン～削りだしを行う。完成作品とレポートによって評価を行っている。

臨床歯科技工学では、感染症や先端歯科医療技術について、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士に來校していただき、歯科医療の現状と今後の展望について実際の症例をもとに講演していただいている。受講後学生はレポートを提出し、その内容により評価を行っている。

セラミック加工応用実習では、連携している企業の方に來校していただき、セラミックの築盛方法について臨床においても高度といわれる技術を指導していただく。製作した完成作品によって評価を行っている。

スポーツ歯学概論では、歯科医師、歯科技工士、歯科材料企業の方に來校していただき、スポーツと歯科の関わりおよびスポーツマウスガードの製法について、講演および実習指導をしていただいている。製作したマウスガードの完成作品によって評価を行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
キャリアデザイン I	様々な臨床現場や歯科技工士の働き方就職活動に必要なスキルを学ぶ。授業を通じて将来像を明確にすることを目標とする。	D-net Dental Hawaii
デジタル歯科技工実習	最先端のデジタル歯科技工技術について学ぶことを目的とする。CAD/CAM操作を体験し、デジタル歯科技工に対応できる現場力を養うことを目標とする。	(株)STLデザイン
臨床歯科技工学	感染症やインプラント、最新歯科医療機器など、先端歯科医療情報について理解を深めることを目標とする。	デンタルラボアシュルツセル (株)EMOTION dental lab
セラミック加工応用実習	審美歯科技工の高度な技術について学ぶ。セラミックを用いた技工物の繊細な技術を体験し、審美歯科で求められる現場力について理解できることを目的とする。	(株)オーリアラ
スポーツ歯学概論	スポーツ歯学及びスポーツマウスガードの役割を学ぶ。特にスポーツマウスガードの製作手順を理解することを目標とする。	みはる矯正歯科医院 (株)リンカイ

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。  
学部長、学科長中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通し必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通した研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

【日本スポーツ歯科医学会第32回総会・学術大会】

対象: 専任教員

主催: 口腔保健協会

内容: スポーツ歯学講演、教育講演、ポスター発表など

期間: 2022年12月3日～4日

スポーツゼミおよびスポーツ歯学担当教員の知見を深め、教育に活かす。

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

【国家試験対策研修会】

対象: 専任教員

主催: 滋慶学園グループ 国家試験対策センター(動画視聴型)

内容: 医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間: 2022年7月4日～10月31日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

【DX推進研修】

対象: DX委員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: DXの概念ポイントを理解する。

期間: 2022年6月14日～12月6日

DXの考え方フレームについて検討しDXをすることで業務効率に活かす。

【教職員カウンセリング研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶科学教育研究所

内容: カウンセリングマインドを身に付ける。

期間: 2022年9月26日～10月21日

学生や保護者に対応できるようにスキル向上し教育に活かす。

【マネジメント研修】

対象: 学科長

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: マネジメント教育について

期間: 2022年10月18日

データを活用してマネジメント力を向上する。

**【FDマイクロレベル(フォローアップ)研修】**

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:授業リフレクションの進め方 コーチングスキルを用いた事例検討

期間:2022年11月9日、11月15日、11月16日

授業の振り返りを行い、授業改善の工夫に活かす。またコーチングの基礎を学びクラス運営に活かす。

**【JESCコンピュータ研修】**

対象:専任教員

主催:株式会社ブレインスタッフコンサルタンツ(BSC)

内容:「なぜ今AIを学ぶのか」「すべての社会人が学ぶべきAIリテラシー」

期間:2022年11月14日・11月30日、11月24日・12月6日

AIおよびリテラシーについて理解し、教育や授業運営に活かす。

**【キャリア教育カウンセラー研修】**

対象:局長、次長、教育責任者

主催:滋慶教育科学研究所

内容:社会環境の変化に応じたキャリア教育に対する考え方の共有

期間:2022年11月18日

キャリア教育のアクションプランの策定および実施方法について理解し、教育に活かす。

**【キャリア教育アドバンス研修】** 対象:専任教員 主催:滋慶教育科学研究所 内容:合理的配慮について

期間:2023年1月12日 合理的配慮を理解し、クラス運営に活かす。

**(3) 研修等の計画**

**① 専攻分野における実務に関する研修等**

**【専任教員講習会 I】**

対象:専任教員

主催:全国歯科技工士教育協議会

内容:歯科技工学のカリキュラムプランニング、評価法

期間:2022年8月4日～8月5日

**〔実技研修会 II〕**

対象:専任教員

主催:全国歯科技工士教育協議会

内容:最新のデジタル器材の紹介など

期間:2022年8月2日

デジタルゼミおよびデジタル歯科技工実習担当教員の技術向上を目指し教育に活かす。

**② 指導力の修得・向上のための研修等**

**【合理的配慮研修】**

対象:学内職員

主催:JTSC滋慶トータルサポートセンター

内容:専門学校に義務化された合理的配慮の概論と実際について

期間:2023年2月21日

合理的配慮について理解しクラス運営に活かす。

**【留学生の価値研修】**

対象:学内職員

主催:JESC日本語教育委員会

内容:外国人とのコミュニケーション、授業のヒントなど

期間:2023年6月23日

留学生とのコミュニケーション方法や留学生が分かる授業の向上をめざし教育に活かす。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

国家試験合格率向上のための、教育システムの改善を図る。学生が学校に通いたい、学びたいと感じられるような魅力のある将来像を産学連携を通じて未来をみせていく。

- ① 初年次教育から国家試験に慣れていくための仕掛けづくりを行うことにより知識のベースを習得する。
- ② 留学生教育において、歯科専門用語を習得できるサポート授業のシステム化を図っていく。
- ③ インターンシップ実施日数の見直しを図り、職種意義を現場体験を通じて学ぶことにより学習意欲の向上を促進する。
- ④ トップ層教育のカリキュラムの導入を実施する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2023年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
中村 八大	株式会社 テクニカルセンター	2022年4月1日～2024年3月31日	卒業生
佐々木智里	歯科技工士科 I 部 在校生の保護者	2023年4月1日～2024年3月31日	保護者
森 章	拓殖大学紅陵高等学校	2022年4月1日～2024年3月31日	高等学校
中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	2022年4月1日～2024年3月31日	地域等委員
南部 哲男	株式会社 ナンプ精工	2022年4月1日～2024年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

<https://www.dt.ntdent.ac.jp/information/>

令和5年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。  
また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

<https://www.dt.ntdent.ac.jp/information/>

授業科目等の概要

(歯科技工士専門課程 歯科技工士学科Ⅱ部)2021年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			導入教育 Introductory education	学校長、歯科医療従事者等の講演を通し、職業の重要性や歯科技工士として働くために在学中に何をすべきか理解することを目標とする。	1年次前期	15	1		○		○		○	○	
○			コミュニケーション基礎 Communication Science	クラス運営のルールや社会の情報リテラシーを理解し、円滑なコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。	1年次前期	15	1		○		○		○		
○			造形美術概論 Compendium of Art of Dental Technology	形態の見方や表現方法の基礎を学ぶ。演習を通じて歯科技工に必要な立体的な形態の表現力を養うことを目標とする。	1年次前期	15	1		○		○		○	○	
○			歯科英語 English for Dental Technology	歯科に関する専門用語を日本語と同時に英語で学ぶ。歯科で用いられる単語は日本語と比較しながら理解することを目標とする。	1年次後期	15	1	○			○			○	
○			英会話入門 Basic Skills for English Conversation	あいさつ、海外訪問時に病気になった時、海外の展示会などで用いる代表的な表現等、基本的な情報交換ができることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	
○			歯科技工学概論 Compendium of Dental Technology Science	歯科医療に関する基礎知識、歯科技工の重要性及び歯科技工物についての概要を理解することを目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	
○			キャリアデザインⅠ Career DesignⅠ	歯科医療現場で活躍する卒業生や、歯科関連企業の方の講演を通して業界の動向を学び、将来像を明確にすることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	○
○			キャリアデザインⅡ Career DesignⅡ	業界動向の諸事例を元に、具体的な将来設計に向けた活動ができることを目標とする。	3年次前期	15	1	○			○			○	○
○			歯科技工士関係法規 Dental Technologist Applicable Laws and Regulations	歯科技工士として業務を行うために必要な「歯科技工士法」を中心に、医療関係法規を理解することを目標とする。	3年次前期	15	1	○			○			○	
○			歯の解剖学基礎Ⅰ・Ⅱ Dental Anatomy-BasicⅠ・Ⅱ	歯と歯列及び口腔の概説と永久歯の形態的特徴を学ぶ。すべての永久歯を鑑別できることを目標とする。	1年次前期	30	2	○			○			○	
○			歯の解剖学応用Ⅰ・Ⅱ Dental Anatomy-AdvancedⅠ・Ⅱ	口腔機能、特に頭蓋骨の構造や咀嚼機能に関する基本的な知識を理解することを目標とする。	2年次後期	30	2	○			○			○	
○			歯の解剖学総合 Dental Anatomy	歯の発生機構、硬組織及び歯周組織について、構造と経年変化を理解することを目標とする。	3年次前期	15	1	○			○			○	
○			歯型彫刻基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ Basic Training of Dental CarvingⅠ・Ⅱ・Ⅲ	歯型彫刻に必要な器具の使い方及び永久歯の形態的特徴について学ぶ。デッサンと彫刻作品の製作実習を通じて理解することを目標とする。	1年次前期	90	3			○	○			○	○



○			歯型彫刻基礎Ⅳ Basic Training of Dental CarvingⅣ	デッサンと歯型彫刻の技術向上を目指す。歯の形態的特徴を、見本を用いて規定時間内に表現できることを目標とする。	1年次後期	30	1					○	○			○	○	
○			歯型彫刻応用Ⅰ Advanced Training of Dental CarvingⅠ	歯のデッサンや歯型彫刻の反復練習を通じて、歯の特徴について知識確認を行う。指定した歯種の形態的特徴を表現できることを目標とする。	2年次前期	30	1					○	○			○	○	
○			歯型彫刻応用Ⅱ Advanced Training of Dental CarvingⅡ	歯のデッサンや歯型彫刻の反復練習を通じて、歯の特徴について知識確認を行う。指定した歯種の形態的特徴を細部まで表現できることを目標とする。	2年次後期	30	1					○	○			○	○	
○			顎口腔機能学基礎 Stomatognathic Function Science-Basic	下顎運動の概要を学び、歯科技工物の製作に必要な咬合に関する基礎知識の理解を目標とする。	1年次後期	15	1			○						○		
○			顎口腔機能学応用 Stomatognathic Function Science-Advanced	様々な咬合位を理解し実習授業にその知識を活用できる。また、咬合器の使用目的や取り扱い方法について理解することを目標とする。	2年次前期	15	1			○						○		
○			顎口腔機能学実践 Training of Stomatognathic Function Science	フェイスボウの実習を通じて、半調節性咬合器の取り扱い方を習得し、治療と技工操作の関連を理解することを目標とする。	1年次後期	30	1					○	○			○	○	
○			歯科理工学基礎Ⅰ・Ⅱ Dental Materials Science-BasicⅠ・Ⅱ	歯科材料全般の特性や性質、材料試験について理解し、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	1年次前期	30	2			○						○		○
○			歯科理工学基礎Ⅲ Dental Materials Science-BasicⅢ	歯科用金属材料について、その種類と性質を様々な視点から理解し、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	1年次後期	15	1			○						○		○
○			歯科理工学基礎Ⅳ・Ⅴ Dental Materials Science-BasicⅣ・Ⅴ	歯科精密鑄造に用いる材料と器材の特性について様々な視点から理解し、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	2年次前期	30	2			○						○		○
○			歯科理工学総合 Dental Materials Science	自費診療など高度な技工物の製作に用いる材料の種類・組成・性質・取扱い方法を総合的に学ぶ。また各種技工物の切削・研磨について学ぶ。	3年次前期	15	1			○						○		○
○			歯科材料加工実習Ⅰ・Ⅱ Practice of Dental Material ProcessingⅠ・Ⅱ	歯科技工士が扱う材料や機器の取り扱いについて学ぶ。様々な実習体験を通じて技工の基本操作の理解を深めることを目標とする。	1年次前期	60	2					○	○			○	○	○
○			デジタル歯科技工基礎 Digital Dental Technology-Basic	最先端のデジタル歯科技工技術について、臨床現場で導入されているシステムを事例に基本的事項を理解することを目標とする。	2年次前期	15	1			○				○			○	○
○			デジタル歯科技工応用 Digital Dental Technology-Advanced	臨床現場で導入されているシステムを事例に、現状と今後の展望、これからの課題について理解することを目標とする。	2年次後期	15	1			○				○			○	○
○			デジタル歯科技工実習 Training of Digital Dental Technology	CAD/CAM操作の体験を通じてデジタル歯科技工の基本を学ぶ。臨床現場で働く講師からの助言を得ながら現場で対応できる力を養うことを目標とする。	3年次前期	30	1					○	○			○	○	○
○			部分床義歯技工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ Partial Denture ProstheticsⅠ・Ⅱ・Ⅲ	部分床義歯について学ぶ。基礎知識から応用まで、理論や製作手順について理解することを目標とする。	1年次後期	45	3			○						○		○
○			全部床義歯技工学Ⅰ・Ⅱ Complete Denture ProstheticsⅠ・Ⅱ	全部床義歯について学ぶ。基礎知識から応用まで、理論や製作手順について理解することを目標とする。	2年次後期	30	2			○						○		○



○		矯正歯科技工実習 Practical Training of Orthodontics	矯正歯科技工の基本的な歯科技工技術を学び、装置の製作を通して、目的、構成、使用材料と器具及び製法について理解することを目標とする。	2年次後期	30	1				○	○			○	○		
○		小児歯科技工学総論 Principles of Pedodontics	小児歯科で用いる装置の製作に必要な小児期の成長発育の特徴を学ぶ。特に歯列の成長発育について理解できることを目標とする。	1年次後期	15	1	○				○			○	○		
○		小児歯科技工学各論 Particular Theories of Pedodontics	小児歯科で用いられる歯冠修復物や各種咬合誘導装置について、その製作方法と理論を理解することを目標とする。	1年次後期	15	1	○				○			○	○		
○		小児歯科技工実習 Practical Training of Pedodontics	小児歯科技工に必要な、基本的な歯科技工技術を学び装置の製作を通して理解することを目標とする。	1年次後期	30	1					○	○		○	○		
○		歯科技工実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ Dental Technology Practical TrainingⅠ・Ⅱ・Ⅲ	レジン前装冠製作、既習技能の確認を行う。課題製作や反復練習では学生自ら今後の課題を設定し、技術向上に活かすことを目標とする。	2年次前期	90	3					○	○		○	○		
○		歯科技工実習Ⅳ Dental Technology Practical TrainingⅣ	歯科技工業務を見据えて規定課題を設定し、時間内に製作、技術の向上を目標とする。	2年次後期	30	1					○	○		○	○		
○		セラミック加工基礎実習Ⅰ・Ⅱ Basic Training of Ceramic Processing TechniquesⅠ・Ⅱ	陶材焼付金属冠の製作を通して、陶材の築盛、焼成方法や製法について理解することを目標とする。	3年次前期	60	2					○	○		○	○		
○		セラミック加工応用実習 Advanced Training of ceramic Processing Techniques	より審美的な陶材焼付金属冠の製作を通して、審美歯科技工の臨床を理解することを目標とする。	3年次前期	30	1					○	○		○	○	○	○
○		歯科技工実習総合Ⅰ Training of Dental TechnologyⅠ	歯のデッサン、歯型彫刻、ワックスアップ、全部床義歯前歯部排列の反復トレーニングを通じて、スピードと正確さを身につけることを目標とする。	3年次前期	30	1					○	○		○	○		
○		課題研究実習Ⅰ Research and Professional PracticeⅠ	卒業後のキャリア形成を踏まえ、自ら課題を設定し、既習知識と技術を用いて計画的に作品の製作を進めることができることを目標とする。	3年次前期	30	1					○	○		○	○		
○		課題研究実習Ⅱ Research and Professional PracticeⅡ	課題研究Ⅰで設定した課題を完成させる。また製作した作品についてプレゼンテーションを行い、用いた技術について理解を深めることを目標とする。	3年次後期	30	1					○	○		○	○		
○		歯科技工実習総合Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Training of Dental TechnologyⅡ・Ⅲ・Ⅳ	ワックスアップ、全部床義歯排列、歯のデッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の反復トレーニングを通じて、スピードと正確さを身につけることを目標とする。	3年次後期	90	3					○	○		○	○		
○		総合歯科技工学Ⅰ Dental TechnologyⅠ	主要科目の模試と講義を通じて総合的な基礎力を確認し、知識を深めることを目標とする。	2年次後期	30	2	○				○			○			
○		総合歯科技工学Ⅱ Dental TechnologyⅡ	専門基礎科目を中心に、模試と講義を通じて総合的な基礎力を確認し、知識を深めることを目標とする。	3年次前期	30	2	○				○			○			
○		総合歯科技工学Ⅲ Dental TechnologyⅢ	模試と講義を通じて歯科技工士として必要な知識の定着と、応用問題に対応できることを目標とする。	3年次後期	90	6	○				○			○			
合計				60 科目	2,085時間(95単位)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。		1学年の学期区分	前期・後期
全科目履修で卒業となる。		1学期の授業期間	15週